

持続可能な地域社会への挑戦！～世界遺産のまち、過疎の山村、小都市の歴史的町並みを手がかりとして

担当教員名 小島 聡／朝比奈 茂

1 コースの概要

日 程	2014年8月18日～20日、26日
場 所	富士河口湖町、小菅村、香取市
参加人数	24名

2 コースの目的

「持続可能な地域社会」という理念はすべての地域に共通しますが、望ましい社会像や、現実的な課題、実践は多様です。

そこでこのコースでは、世界遺産に登録された富士山の麓のまちである山梨県富士河口湖町、同じ山梨県内にある多摩川源流域の小菅村、歴史的町並み保全とともに観光のまちづくりを進める千葉県香取市という、3つの異なる地域を訪問しながら、それぞれの「持続可能な地域社会」への挑戦を比較し、共通点と特性を考えることを目的にしました。

3 事前学習

事前学習は2回行いました。1回目は、まず、グループディスカッションを行い、なぜこのコースを選んだのか、このコースで何を学びたいのかという参加者の初期的な問題意識を共有しました。その上で、コースの趣旨と概要を確認した後、3つの地域のプロフィールと、それぞれの持続可能性に関する課題について講義し、地域の映像も観ました。

2回目は、各人が、興味深い事実、現地で確認したい事項（フィールドに対するそれぞれの問い）を、インターネットで事前調査し、ワークショップ方式で共有を図りました。

4 行程

1日目

まず山梨県立富士ビジターセンターを訪問し、県の職員である富士山レンジャーから、世界遺産登録後の観光客の急増とそれに伴う諸課題（登山者の安全、廃棄物やトイレなど環境問題など）と、国立公園としての全般的な対策、レンジャーの役割について講義を受けました。その後、ビジターセンター内の研修用散策路でガイドを受けながら富士山トレッキングを体感しました。

次に、廃棄物問題を中心に富士山の環境問題に取り組んできたNPO法人富士山クラブのオフィスで講義を受けた後、不法投棄現場で廃棄物の撤去作業を体験しました。

夜は、法政大学富士セミナーハウスで、昼間にお世話になった方々から、さらにお話を伺いました。

2日目

午前中は、富士山クラブの講義の後、富士山周辺の人々の暮らしの原風景を知るため、昭和の頃に土石流で消滅した集落を復元した「西湖いやしの里根場」を訪問しました。

午後は、多摩川源流域の持続可能性を考えるため、山梨県小菅村に移動し、NPO法人多摩源流こすげのオフィスで、村づくりとNPOの役割について講義を受けました。その後、山村内を散策しながら、地域の風景資産ともいえる山の斜面のこんにゃく畑では農家の方にお話を伺い、さらに多摩川源流の風景を象徴するスポットを数カ所訪れました。

さらに村営温泉に行き、夜は、NPOや村役場の若手のみなさんと学生の懇談会を開催し、村の現在と未来に対する若い世代の想いを伺いました。

3日目

午前中は、村民の健康づくりに少しでも貢献するため、住民と学生と一緒に体力測定を行い、その後、高齢者のみなさんは担当教員（朝比奈）による健康セミナーを受講し、子どもたちは大学生とドッジボールで交流しました。

午後は、役場で、担当教員（小島）が、むらづくりを担う職員のみなさんと、「次の世代につなぐ小菅村の



不法投棄現場で撤去作業の体験



西湖の復元集落にて

未来と人づくり」についてパネルディスカッションを行い、学生は若手職員とともに聴衆として参加しました。また帰り際、村の観光物産館を見学し、学生たちは特産物を購入しました。

4日目

江戸時代からの「江戸優り」というシビック・プライド（市民の誇り）をエネルギーとした地域プロデュースと、東日本大震災からの復興観光を体感するために、午前中は、重要伝統的建造物群保存地区である香取市佐原地区でオプションツアーを行いました。町並み交流館も訪問し、川沿いの観光資源のイタリアンレストランで、法政 FS スペシャルランチを味わった後、伊能忠敬記念館を見学、さらに歴史的町並み保全と観光まちづくりについて講義を受けました。

5 事後学習

事後学習は、各人がコースのテーマについてレポートを持ち寄り、グループディスカッションと全体ディ



歴史的町並みを散策



イタリアンレストランで法政 FS スペシャルランチ

スカッションで共有しました。最後に、3つの地域を比較した知見について総括講義を行いました。

6 雑感

事後学習で伝えましたが、このコースの最も重要なメッセージは、今回、訪問したような様々な地域＝フィールドでの学びを通して、法政大学人間環境学部が立地する巨大都市東京と、自分が住んでいる地域の持続可能性を考える視点を身につけることです。ですから、参加した学生には、このコースを大切な機会にしてほしいと願っています。



小菅村の若い世代との対話

学生の声

机上では得られない



1年 松野 隼人

今回のフィールドスタディでは、山梨県の富士河口湖町周辺地域と小菅村、そして千葉県香取市という3つのまちを訪ねました。抱えている問題や、置かれている状況が異なる3つの地域を比較し、それぞれの街で課題の解決につながる答えを考える事がこのFSの目的でした。

まず私たちは、それぞれのまちが抱えている課題を明確にすることから始めました。地域の方々のお話を直接聞き、実際に自分たちの足でまちを見てまわることによって、そのまちが抱えている課題を適切に捉えることができました。また、地域の方々とは直接意見交換を行うことによって、それぞれのまちが抱える課題のための対応を地域の方々とともに考えることができました。

私はFSで、普段の講義では決して得ることのできない体験をさせていただきました。この文章を読んでいるあなたも、ぜひFSに参加してみてください。きっとかけがえのない時間をすごせると思います。